

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com



待機児解消を保・幼・小連携と リンクさせるなんて

子どもは健やかに育つの？

以前報告しましたが、区長提案の待機児対策は議論ないままに進めらるようとしていることがわかりました。区長の思い付きではないかという憶測さえあります。

三つの待機児対策

待機児対策として区長が提案した内容は、次の三点です。

- ① 認可保育園 19園で定員を2000人増やす。
- ② 認証保育園の保育料を認可園と同様に軽減する。
- ③ 保育園の5才児を近隣の小学校に移して保育し、保育園の空きスペースで待機児を保育。

行政内部での検討しな いまま提案

南が問題ありと思うのは③案です。その理由は2点。第一は、行政内部の検討をしないまま区長が突然提案したこと。

区は今年5月に、『保・幼・小連携の推進に関する検討委員会』を立ち上げ、保育園と幼稚園の子どもが小学校にスムーズにつながるよう就学前からどう連携すればいいかを検討させてきました。

しかし、区長が提案した③案は、本来ならこの委員会での検討に付して提案されるべきだったのに、実際はまったくされていませんでした。南が議事録の公開を求めると、「つくっていない」ことを理由に公開せず、提供されたレジメにも一切議題になっていませんでした。

12月14日に開かれた4回目の検討委員会でもようやく議題になったものの、関係委員から異論が出されました。提案から2ヶ月も経つての事です。

待機児対策とリンクする ことに問題ありと

検討委員会の委員は、学識経験者、公立学校の管理職、公立の保育園と幼稚園の管理職、私立の保育園と幼稚園の代表、それに区の子ども未来事業部長、教育委員会次長などで構成されています。

南は、12月14日の委員会

を傍聴しました。

そこで、保育課長から『保育園待機児解消策の概要について』の説明がありました。まず、学校長の委員から出された意見は、「待機児対策として5歳児だけが学校に入るのは、私は違うと思う」「幼児の心理や実態を理解しないといけない」という内容でした。南は聞いていて、やっぱり子どものことを考えている人の発言だなと思いうれしくなりました。また、保育園長の委員は、「5歳児だけが学校に行く」と（そこでは）最年少になるので、4歳児も一緒のほうがいい」というものでした。この発言は、区長提案に賛成の立場ですが、それでも、5歳児だけ切り離して保育をすることは問題ありということでした。

区長提案を先にし行って、

委員会には事後承諾、つまりアリバイ作りで議題にしても委員からは異論が出て、了解されてはいないので。こんな提案のやり方は問題です。また、子どもにとって決ましている結果を生まない保育はやるべきではありません。

待機児解消は認可保育園の増設でこそ

待機児解消を、認可保育園の増設で取り組もうとしない区の姿勢は問題です。

数年後には子どもの数が減ることを理由にしていますが、本当に減るのでしょうか。働き続けたい女性は増える一方です。また、区は、子育て世代の転入を図るために区民住宅を整備すると説明してきました。

本格的な解消策は、子どもの定員に見合った保育士がそろっている認可保育園をつくる

ことが一番の対策です。手足を伸ばして遊べる広さがある園庭、0歳の赤ちゃんがいつぱいはいはいできる保育室、安全な給食を提供できる

調理場と調理師、栄養士、看護士など、子育てに必要な職員をそろえるには、やはり認可保育園なのです。

「早く、認可保育園をつくれ」と、品川区にみんなで要請しましょう。

頓珍漢な発言で父母の願いつぶす

新日本婦人の会と保育問題協議会が提出した、保育園の増設を求める請願は自・公・民・無所属の反対で不採択に。自民・井桁敦子議員の反対理由を紹介します。

「新しく保育園をどんどん、箱ありきで待機児を解消させていこうというやり方も古い」。保育園を箱物とって切り捨てていること、また、仕事と子そだてを両立させたい女性の気持ちを理解しないのです。ご自分はどうするのでしょうか。

生活・雇用・子そだて

・教育など何でもお気軽にご相談ください
連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523